

衆議院環境委員会ニュース

平成 30.5.11 第 196 回国会第 7 号

5 月 11 日（金）、第 7 回の委員会が開かれました。

1 理事の補欠選任

- ・理事の補欠選任を行いました。
理事 西岡秀子君（国民）（理事柿沢未途君去る 7 日委員辞任につきその補欠）

2 気候変動適応法案（内閣提出第 27 号）

- ・参考人から意見を聴取することに協議決定しました。
- ・中川環境大臣、とかしき環境副大臣、笹川環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

百武公親君（自民）

- ・気候変動適応法案に込めた中川環境大臣の意気込みを伺いたい。
- ・都道府県や市町村による地域気候変動適応計画の策定を努力義務とした理由について、笹川環境大臣政務官に伺いたい。
- ・本法案で規定されている気候変動適応計画と現行の政府の適応計画との違いについて、とかしき環境副大臣に伺いたい。併せて、既に適応に係る計画を策定し取組を進めている地方自治体の計画の取扱いについても伺いたい。

堀越啓仁君（立憲）

- ・緩和策の強化は、気候変動の影響と被害を未然に回避する最大の適応策であると考えているが、中川環境大臣の所見を伺いたい。また、気候変動対策は緩和策の最大限の実施が大前提であることを本法案に明記すべきと考えるが、併せて見解を伺いたい。
- ・事業者や地方自治体が把握した気候変動リスクに係る情報については、その提供を義務化するなどの措置を講ずる必要があると考えるが、中川環境大臣の見解を伺いたい。
- ・国立環境研究所が気候変動適応の推進に関する業務を行うに当たり、地域の実情に留意する必要があると考えるが、これを本法案に規定する必要性について、笹川環境大臣政務官の見解を伺いたい。

下条みつ君（国民）

- ・気候変動の予測はどのように行われているのか、また

どのような頻度でその予測が更新されているのか、環境省に伺いたい。

- ・地方自治体では気候変動を予測する専門家が限られている中で、多数の選択パターンがある将来予測シナリオに基づき、地域気候変動適応計画を策定していくことは難しいと考えるが、国として具体的にどのようなサポートを行っていくつもりか、環境省に伺いたい。
- ・気候変動予測の不確実性がある中で適応策を進めていかなければならない行政コストの在り方について、中川環境大臣の見解を伺いたい。

江田康幸君（公明）

- ・本法案提出の意義と、本法案により適応策をどのように強化していく考えか、中川環境大臣に伺いたい。
- ・地域における適応策を推進するために、地方自治体に対し、国としてどのような支援を行うつもりか、笹川環境大臣政務官に伺いたい。
- ・我が国が有する科学的知見や技術を活用し、途上国の適応策の強化に貢献すべきと考えるが、中川環境大臣の所見を伺いたい。

本ニュースは、速報性を重視した概要版として事務局において作成しているものです。
詳細な内容については会議録を御参照ください。